

西宮市議会議員

田中まさたけ

正 剛



ホームページもご覧ください。

<http://masatake.jp/>

田中まさたけ

検索



市政・市議会報告

通信簿

いただいた任期は、まもなく満了を迎えます。

20年前、私は、選挙の前だけではなく、常に市政の現状をお伝えすることを約束し、貫いてきました。

このチラシを通じ、いただいた市民の皆様からのご意見に耳を傾け、「行動する政治」を貫いてきました。

すべては、子供たちに誇れる西宮をつくるために。

掲載
内容

- 体育館へのエアコン整備
- 5期20年で提案した政策の結果
- 重点政策
- 教育環境の向上
- 高齢化による課題への対応
- 市立中央病院と県立西宮病院の統合新病院の動向

市が示した「できない理由」に対して「できる方法」を提案した結果、学校体育館のエアコン整備は新年度も着実に予算化。

スポーツ
環境

先進事例を視察し、議場で「できる方法」を示し実現した学校体育館のエアコン整備ですが、令和5年度は10校分の整備費と令和6年度整備分の設計費として、約4億5900万円の予算が計上されました。整備予定は右のとおりです。

● 令和5年度に予算計上された小学校一覧

名塩、東山台、北六甲台、上ヶ原南、広田、上ヶ原、夙川小学校（以上が土砂災害避難所）
瓦木、鳴尾東小学校（改修事業に合わせて整備）、
北夙川小学校（自主避難所）

記事に対するご意見や情報は、nishinomiya@masatake.jpまでお寄せください。

安心
安全

新年度は市立体育館のエアコン整備も予算化。議場での提案は、市民の健康と命を守る政策へとつながっています。

スポーツ推進は、子供の健全育成のほか、心身の健康増進、介護予防、コミュニティの醸成など、市民が豊かに暮らすために大きな役割を果たす政策として、これまで重点的に取り組んできました。そして、令和5年度予算では、市立松原体育館と甲武体育館にもエアコンを整備するための予算600万円が計上され、2900万円の債務負担も設定されました。災害時の避難所にもなる、体育

施設の熱中症対策は、市民の命を守るために市が税金を投じて備えておくべき政策だと考えています。これからも、一層のスポーツ推進に向け、

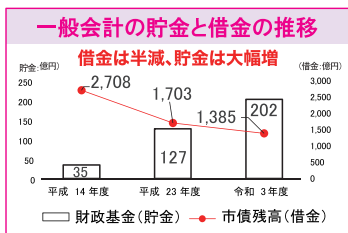
- 市立中央体育館と陸上競技場の早期整備
 - 学校体育施設の地域開放によるスポーツ推進
 - スポーツによる経済への波及効果の追求
- に取り組みたいと考えています。

政策提案の先にあるもの

市民から寄せられたご意見・情報をもとに、5期20年で提案し、行動し、実現した政策。まちの未来は、市民の力でつくられています。

●財政改革の断行で財政破綻を回避

「子供たちの世代にツケを残さない。」私が市政に挑戦した原点です。初当選直後の平成15年6月議会一般質問で第3次行財政改善実施計画を提言し断行。平成17年度から20年度の4年間で累積280億円の財政改善を達成。



●議員定数は20年で4名削減

議員定数は、初当選時の平成15年は45名でしたが現在は41名です。4年に1度、議員定数(人数)の妥当性を検証することを提案しましたが、受け入れられずに改選後に持ち越し。定数は削減すべきです。

●西宮市議会初の政策的条例を起案、制定

平成23年12月に「西宮市第三セクター等への関与に関する条例」を議員提案し可決。外郭団体と市の馴れ合いを排し、現在も毎年経営状況が報告されています。その結果、JR西宮駅前の「フレンテ西宮」は存続、市による貸付金も順調に返済されています。

●産後ケア事業の利用促進

待ち時間も長くて利用しづらいとのことに基づいて、令和元年12月議会で「産後ケア事業」を市直営から民間への委託化を提案。令和4年度より訪問型ケアの委託化が実現し、通所型と滞在型ケアの支援も始まりしました。今後、さらに安心して出産に臨める環境整備、伴走型相談支援と経済的支援の実効性の向上を求めてまいります。

●子供の居場所づくり:子供食堂の増設

平成28年12月議会で、子供の夜の食事、「こ食」を問題視し夜の子供の居場所づくりについて議論。平成29年3月に「西宮市子供の生活応援体制整備計画」が策定され、令和2年度から子供食堂に対する補助金制度も始まりしました。

●登下校時の防犯:「ミマモルメ」の活用

平成16年12月議会で、小学生の登下校時の防犯対策にICT技術の導入を提言。市は平成23年度から小学校で「ミマモルメ」という防犯システムを導入し、令和3年度から出欠連絡にも活用されています。また、令和3年6月議会において、通学路の見守りボランティアの方々の減少対策や、公園への防犯カメラの設置も提案しています。

●場当たりの非効率な行政運営の改革

平成18年6月議会で「公共施設のアセットマネジメント」の導入を提案し、平成23年より始動。平成28年に「公共施設等総合管理計画」が策定され、今年度、改訂されます。公共施設の適正管理、適正配置、財源確保の取組みは急務です。



大社中学校の増改築が行われます。令和5年度は基本構想・基本計画策定の予算が計上されました。

時代の変化に対応できない市政に対し、私はあきらめずに「提案する姿勢」を貫きます。

田中まさたけが取り組む重点政策4つの柱

詳細はこちら→



1 子育て・教育環境の向上
これからの日本を支える
「人」が育つ文教住宅都市を目指して

3 経済対策・財政改革
次世代へ「ツケ」を残さない
持続可能な市政を目指して

2 安心・安全のまちづくり
高齢化・人口減少社会に対応した政策に
転換し、人・街ともに「健康都市」を目指して

4 議会改革・機能の向上
「市民との対話なくして真の政策なし。」
市民のために機能する議会を目指して

待機児童、不登校、ヤングケアラー支援など課題は山積。 「子供の育ち」を重視した教育環境の再構築が急務です。

教育
環境

●公立保育所と公立幼稚園の統廃合、保育所民間移管による待機児童の解消

平成15年12月議会で取り上げて以来、たびたび本会議で議論しましたが、市は聖域化して公立を擁護し、改革に乗り出しません。この改革によって確実に生み出される財源を、待機児童対策や少子化対策、不登校、ヤングケアラー支援など、山積する課題に対応するために活用すべきなのです。

●「子育てひろば」「児童館機能」の拡充

【令和5年度関連予算:3億5100万円】

平成17年9月議会で、親子が室内で過ごせる遊び場の拡充を提言し、「子育てひろば」は現在20ヶ所まで拡充されました。さらなる拡充を目指して「できる方法」を提案します。

●放課後の居場所づくり:「放課後キッズルーム」

【令和5年度予算:2億1600万円(31校で実施予定)】

平成22年12月議会で、学童保育(育成)での小学4年生以上の受入れとともに、全ての子供が参加可能な「放課後子ども教室」の全校実施を提言。令和5年

度は「放課後キッズルーム事業」が31校で実施予定です。今後、学童保育の待機児童対策が急務です。

その他、以下の政策も急務です。

●西宮市幼児教育・保育ビジョンの実効性の検証・改善による幼児教育の充実

●学びの指導員の拡充・スクールサポートスタッフの継続配置・タブレット・ICTの積極活用、子供の個性に応じた教育環境の整備

●学校での居場所サポーターの増員とNPO法人等との協働による不登校児童生徒の居場所づくり



←平成15年に民間に移管された安井保育園。

以降20年間、民間移管された公立保育所はありません。

必要性を訴え続けた高齢化に対する備え。介護予防の実効性を高め、介護難民を防ぐ政策も急務です。

安心
安全

●市内公共交通の利便性向上・外出支援

平成20年12月議会で成熟社会における交通政策のあり方を取り上げ、重点的に交通問題に取り組んできました。平成27年に西宮市総合交戦略が完成。

バス事業者との意見交換の場が設置され、バス路線の見直しも実現。今後の人手不足を見据え、ICTを活用した交通システム「MaaS」の導入も提案しています。

●高齢者の居場所づくり・介護予防の推進

健康福祉常任委員会の令和元年度施策研究テーマの提言において、いきいき体操の会場や老人クラブ等の集い場に専門家を派遣して「(仮称)暮らしの相談室」を実施することにより、高齢者の悩み相談や、医療・福祉など高齢者の関心に応じた情報提供が行われる環境整備を提案しています。

●介護事業所の状況把握と支援の実施

平成2年6月議会一般質問で、介護人材離れの抑止と介護サービス事業者に対する事業継続のための支援を提案。その後、令和2年度と4年度にそれぞれ新型コロナウイルス感染症にかかる事業継続包括支援

給付金事業等が実施されました。今後、近い将来に介護難民が生じることのないよう、計画的に体制づくりを進めなければなりません。

●共生型地域交流拠点事業の推進

現在、7ヶ所で共生型地域交流拠点が立ち上がっていますがなかなか増えません。つどい場を運営する方々が使いやすい補助金制度の運用を求めています。

【令和5年度予算:4300万円(8ヶ所分)】

●特殊詐欺対策自動通話録音機無償配布

【令和5年度予算:6400万円】



つどい場で情報交換

市立中央病院閉院後の跡地活用についても計画が示されましたが、閉院後の職員の処遇等課題も残されています。

医療
環境

■建築費の高騰の影響等により統合新病院の開院時期に遅れが生じています

市立中央病院と県立西宮病院の県立統合新病院が、アサヒビル西宮工場跡地での開院に向けて事業が進められていますが、**建築費の高騰により入札不調となり、開院予定が令和8年度に延びる見込み**が示されました。兵庫県との基本協定を締結したことにより、**建設費の高騰はすなわち市の負担金の増加につながります**。新年度予算において、**市の負担がさらに約34億円も増加**することが明らかになりました。令和5年度予算案の時点で、市の負担として、

●土地の購入費：39億7400万円

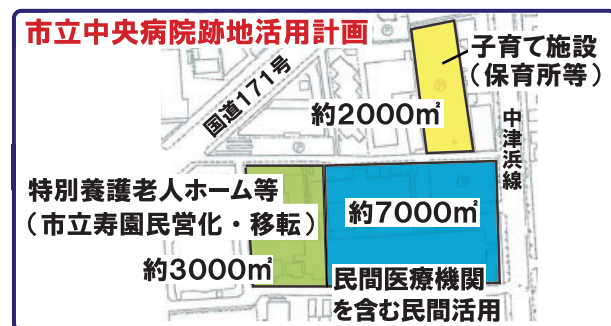
●設計費等負担金：2億5500万円

●建設費負担金：72億7800万円

の債務負担行為（支払い約束）が設定されています。今後、**機器購入費として約6億3000万円も負担**し、さらに、**私が問題視している運営費負担金として、毎年年間約4億6千万円も負担**する計画となっています。

■市立中央病院の跡地計画について

統合新病院が開院した後に、速やかに現在の**市立中央病院は閉院されることになっており、その跡地に民間病院を誘致する計画が示されました**。その他、現在の保育所は閉園し、新たに保育所等子育て支援施設と、市立寿園が民間移管され、高齢者施設の移設先として活用される方針が示されています。しかし、いまだに、**中央病院職員の統合新病院での処遇などが決まっていない**という大きな課題が残されています。今後、医療環境の悪化を招かないよう注視する必要があります。



この記事に対するご質問・ご意見は、nishinomiya@masatake.jpまでお寄せください。

約束のかたち：「市政・市議会報告」の発行の継続、「市政報告会・意見交換会」の開催

このチラシは、単なる広報やPR誌ではなく、市民の声を伺うきっかけとなる広聴のためのチラシでもあり、選挙前だけではなく定期的に作成してきました。このチラシを見て、掲載内容以外のことも含めてご意見を寄せてもらっています。また、LINE公式アカウントでも、ご意見をいただいております。すぐには実現できない内容も多いですが、だからこそ、今すぐ着手しなければならないこともあります。諦めずにご意見や情報をお寄せ下さい。

発行責任者

田中正剛 たなか まさたけ

profile

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒/元市会議員事務所に4年間勤務した後、平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選（27歳）

■担当委員会：教育こども常任委員会 ■政党：自由民主党

■これまでに就任した市議会での主な役職

厚生常任委員会委員長、西宮市監査委員、病院問題特別委員会委員長、阪神水道企業団監査委員、西宮市議会副議長、建設常任委員会委員長、民生常任委員会委員長、第8代西宮市議会議長（41歳）

■68号：実現する政治



令和3年度決算、中央運動公園再整備事業が再始動、特殊詐欺対策、小学校体育館へのエアコン整備、都市交通計画と阪急新駅などについて掲載。

LINE
公式アカウント

LINE公式アカウントへのご登録は、⇒
こちらのQRコードをLINEアプリで読み
取って下さい。

